

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	国語総合	年次	1年次	区分	必修	担当者名	
	国語	講座名	国語総合(現代文)	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	国語総合 現代文編(東京書籍)
目標 (学習を通して身につける学力)	国語を的確に理解し、適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。							副教材	新国語便覧(第一学習社) 新現代文単語(飯塚書店) 意味から学ぶ頻出漢字2000(第一学習社) ちくま評論入門(筑摩書房)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	評論「技術が道徳を代行する時」 評論「水の東西」 評論「客観的と抽象的」 小説「羅生門」	評論「言葉は『ものの名前』ではない」 評論「時間と自由の関係について」 随想「少女たちの『ひろしま』」	小説「城の崎にて」 評論「広告の形而上学」 評論「メディアがつくる身体」	詩歌(詩・短歌・俳句) 評論「生物の多様性とは何か」 評論「(私)時代のデモクラシー」	小説「富岳百景」 評論「暇と退屈の倫理学」 小説「神様」
指導項目	・表現に注意して評論を読み、本文の内容を的確に理解する。 ・小説に描かれた登場人物・情景・心情などを、表現に即して読み取る。	・評論に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 ・筆者のものの見方や感じた、表現の特色に注意して随想を読む。	・小説に描かれた出来事や登場人物の心情などを、表現に即して読み取る。 ・文章の構成や展開に注意して評論を読み、自ら考える態度を養う。	・詩、短歌、俳句について、それぞれの形式やリズム、表現方法に注意して読む。 ・詩歌に親しみ、そこに描かれた世界を読み味わう。 ・文章の構成や展開を確かめて評論を読み、ものの見方、考え方を豊かにする。	・小説に描かれた登場人物の感じ方や生き方などを、話の展開に注意して読み取る。 ・文章の構成や展開を確かめて評論を読み、ものの見方、考え方を豊かにする。
補講講習	課題提出不良者・成績不振者 補習	課題提出不良者・成績不振者 補習	課題提出不良者・成績不振者 補習	課題提出不良者・成績不振者 補習	課題提出不良者・成績不振者 補習

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲
	7月8日		8月26日	11月4日		1月8日	3月11日・12日
	評論・小説・随想 (外部模試を利用)	希望者対象講習	夏季休業中 宿題範囲	評論・小説・随想 (外部模試を利用)	希望者対象講習	冬期休業中 宿題範囲	評論・小説・随想 (外部模試を利用)

評価の観点 評価方法	①授業及び予習・復習・課題に対して、積極的に取り組んでいるか。 ②漢字や語句の学習を通して語彙を豊かにすることができたか。 ③作品内容を的確に理解し、要約をまとめたり、自らの考えを相手にわかるように伝え話し合うことができたか。 ④多様な作品に触れ、思考力や想像力を伸ばし、感性を磨くことができたか。 以上の観点から、定期考査・課題テスト・小テスト・提出物等により、総合的に評価する。学年末に現代文と古典を統合し、国語総合として評定を出す。
---------------	---

日常の 学習方法	①教科書「学習の手引き」「漢字と語彙」を予習し、疑問点の拾い出し等を行う。 ②授業では予習でわからなかった部分を中心に、表現形態に応じた読解の方法を学びつつ、疑問点を解決する。 ③授業で学んだ事項の整理をして定着を図る。 ④小テスト等で漢字や語句の知識を継続的に増やしていく。 ⑤問題集等の副教材で発展的な学習を行う。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	必修科目であり、2年次で履修する「現代文B」につながる科目である。大学入学共通テスト出題内容の基本を学ぶという意味でも極めて重要な科目であることを心に留めておいてほしい。 授業時間数の関係から、クラスによって取り扱う教材が異なることがある。
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	国語総合	年次	1年次	区分	必修	担当者名	
	国語	講座名	国語総合(古典)	単位数	3単位	形態	習熟度別	教科書	国語総合 古典編(東京書籍)
目標 (学習を通して身につける学力)	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ・思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。 ・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。 							副教材	新国語便覧(第一学習社) 古典単語330(いっすな書店) 体系古典文法九訂版(数研出版) 必携明説漢文(尚文出版) LT古文1・2(浜島書店) 故事成語に学ぶ基本句法(浜島書店) 史伝・思想に学ぶ必須句法(浜島書店) LT漢文必修(浜島書店)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	【古文】 〈今昔物語集〉「檢非違使忠明」 〈十訓抄〉「大江山の歌」 〈徒然草〉「丹波に出雲といふ所あり」 「九月二十日の頃」 【漢文】 「助長」「推敵」	【漢文】 朝三暮四 【古文】 〈土佐日記〉「馬のはなむけ」「羽根といふ所」 「帰京」 【漢文】 「苛政猛於虎也」	【漢文】 「塞翁馬」 【古文】 〈伊勢物語〉「茶川」「東下り」「筒井筒」 【漢文】 「雜説」	【漢文】 「管鮑之交」 【古文】 〈平家物語〉「木曾の最期」 【漢文】 「鶏口牛後」 【古文】 〈和歌〉「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」	【漢文】 〈唐詩〉 【古文】 〈大和物語〉「いはで思ふ」 【漢文】 「論語」「孟子」
指導項目	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い・品詞の分類・用言の基礎・係り結び・接続助詞「ば」・文学史(説話・随筆)・訓読と書き下し(訓点・置き字・助字・再読文字) 	<ul style="list-style-type: none"> ・用言の完成・助動詞の基礎・文学史(日記文学)・基本句法(否定・疑問・使役・比較)・同訓異字・文末助字 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本句法(反語・部分否定・限定・受身)・「え～打ち消し表現」「終助詞なむ」・和歌の修辭・「同格のもの」「副助詞し」・古典作品中の婚姻制度・逆接強調・「な～そ」・「接続助詞つつ」・文学史(歌物語) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本句法(受身・比較・選択・抑揚)・敬語の基本・音便・文学史(軍記物語)(三大歌集)・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・近体詩の形式・敬語の完成・基本句法(詠嘆・假定・禁止)
補講講習	成績不振者・課題提出不良者 補習	成績不振者・課題提出不良者	成績不振者・課題提出不良者	成績不振者・課題提出不良者	成績不振者・課題提出不良者

特別審査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別審査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別審査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲
最初の授業時	7月8日	希望者対象講習	8月26日	11月4日	希望者対象講習	1月8日	3月11日・12日
春休み宿題範囲	古文・漢文 (外部模試を利用)		夏季休業中 宿題範囲	古文・漢文 (外部模試を利用)		冬期休業中 宿題範囲	古文・漢文 (外部模試を利用)

評価の観点 評価方法	①日々の授業、予習・復習・課題等に対して、積極的に取り組んでいるか。 ②古典の読解に必要な基礎的語彙や文法の知識を身につけることができたか。 ③古典作品的確な理解をもとに、自らの考えを相手にわかるように伝え、話し合うことができたか。 ④古典を通して自らの思考力や想像力を伸ばし、感性を磨くことができたか。 以上の観点から、定期審査・課題テスト・小テスト・提出物等により総合的に評価する。学年末に現代文と古典を統合し、国語総合として評定を出す。
---------------	---

日常の 学習方法	①「学習の手引き」「語句と表現」を予習し、語彙の調べ学習、現代語訳等を行う。 ②授業では予習でわからなかった部分を中心に、新たな知識を得るとともに、知識の正しい活用の仕方学ぶ。 ③復習として授業で学んだ事項の整理をして定着を図る。 ④小テスト等で古文単語の知識を継続的に増やしていく。 ⑤問題集等の副教材で発展的な学習を行う。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	必修科目であり、2年次生で履修する「古典B」に繋がる科目である。大学入試共通テスト出題内容の基本を学ぶ、という意味でも極めて重要な科目であることを心に留めておいて欲しい。
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	地理B	年次	1年次	区分	必修	担当者名	
	地理歴史	講座名	地理B	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	新詳地理B・新詳高等地図(ともに帝国書院)
目標 (学習を通して身につける学力)	1. テーマごとに世界を概観し、分布上の特色を把握し、その原因を考察することにより世界各地の地域の理解を深める。 2. 地形図の読図、統計資料の分析などの地理的技能を身につける。 3. おもに自然地理分野における諸現象のメカニズム理解に重点をおき、これをもとに地球上の諸現象の成り立ちを俯瞰する。 4. 現代世界をとらえる一つの切り口として、地理的なものの見方を身につける。							副教材	新詳地理資料(帝国書院)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	・地理的情報と地図 ・自然環境	・自然環境	・自然環境	・資源と産業 ・人口、都市村落	・資源と産業 ・生活文化 ・世界の諸地域
指導項目	1.地球儀と世界地図 2.地理情報と地図化 3.地図の活用 4.大地形	1.小地形 2.気候	1.気候 2.農牧業	1.工業 2.衣食住 3.言語と宗教 4.民族と国家	1.資源 2.地誌
補講 講習	随時	随時	随時	随時	随時

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
			任意の課題提出				任意の課題提出			

評価の観点 評価方法	1.地域の特色を理解する上で必要なかつ重要な分布図や統計などの資料を分析・理解できたか。 2.共通テストの過去問などの演習を通じて、問題の解法が身についたか。 3.定期考査の素点、授業中の取り組みなどを総合的に評価する。
---------------	--

日常の 学習方法	1.日常から地理的な事象について興味を持つこと。 2.教科書や資料集など自ら積極的に授業内容の箇所にマークやメモをしながら、自分独自のノートをつくる。 3.問題演習は、正解のみを暗記するのではなく、正解が導き出されるプロセスを理解する。 4.常にビジュアルとポジションを意識して地理的諸現象を考える。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	1.社会事象について興味関心を抱くために、日常から新聞やニュース番組などを見る習慣をつける。 2.公民科や他の歴史の学習との関連を意識する。
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	倫理	年次	1年次	区分	必修	担当者名	
	公民	講座名	倫理	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	『新倫理』清水書院
目標 (学習を通して身につける学力)	先哲のさまざまな思想について考察することを通して、人間についての在り方・生き方についての理解と思索を深めさせる。またそれらの思索を通して、科学技術の発展やグローバル化で、世界や社会が急激に変化する中、生徒自身が主体的に生きる力を確立できるよう、良識ある公民としての資質を培う。							副教材	高等学校新倫理新訂版ワークノート テオリア最新倫理資料集

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	人間とは何か 現代に生きる自己の課題 ・青年期の意義 ・自己の理解に向けて ・豊かな自己実現のために	人間としての自覚と生き方 ・人生における哲学 ・人生における宗教 ・人生の知恵 ・人生における芸術	現代社会と倫理 ・人間の尊厳 ・自然や科学技術と人間とのかかわり ・民主社会における人間のあり方 ・自己実現と幸福 ・個人と社会とのかかわり ・現代における理性的問題	国際社会における日本人の自覚 ・日本の風土と伝統 ・仏教の伝来と隆盛 ・儒教の日本化 ・庶民の思想と国学 ・西洋近代思想の受容	現代の諸課題と倫理 ・生命倫理 ・環境倫理 ・現代の家族とその課題 ・地域社会の変容と共生 ・情報社会とその課題 ・グローバル化の時代と倫理 ・人類の福祉と国際平和
指導項目	人間についてのさまざまな捉え方の紹介 青年期の特徴と課題の考察	ギリシャ思想の意義を紹 三大宗教や儒教の考え方の考察	西洋近代・現代思想の把握	伝統的な日本文化の把握 外来思想が日本に与えた影響の考察	現代社会の倫理的な課題の考察
補講 講習	定期考査不良者に演習ノートでの復習	定期考査不良者に演習ノートでの復習	定期考査不良者に演習ノートでの復習	定期考査不良者に演習ノートでの復習	定期考査不良者に演習ノートでの復習

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲
			夏季休業終了後の 授業中				
			現代の諸課題と倫理に ついての小テスト				

評価の観点 評価方法	①日々の授業、さらに予習・復習・課題などに対して、十分に取り組んでいるか。 ②3分間スピーチに対して、主体的に取り組んでいるか。 ③思想の時代背景や内容を適切にとらえ、その考え方を現代の自己の課題に置き換えて考察することができているか、といった観点から考察する。
---------------	---

日常の 学習方法	①授業中 教科書の順番にのっかって、プリントを使い講義形式で思想家や哲学者、宗教の内容を学習していく。必要に応じて問題演習を行う。 ②予習 3分間スピーチに備えて、自ら課題を設定して、解決する方法を主体的に模索していく。またプレゼンテーション能力を磨く。
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	倫理(哲学)は欧米では基礎教養であり、高校の授業では世界史や日本史、現代文や漢文などとの関連性を指摘しながら学習していく。あわせて、センター試験「倫理」「倫理・政治経済」の基礎になる力をつける。
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	数学 I	年次	1年次	区分	必修	担当者名	
		数学	講座名	数学 I	単位数	3単位	形態	習熟度別	教科書	東京書籍「数学 I」(東書 数 I 317)
目標 (学習を通して身につける学力)		数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。							副教材	Focus Gold 数学 I +A(啓林館) Focus Gold 数学 II +B(啓林館) フォーカスゴールドノート 数学 I +A(啓林館) フォーカスゴールドノート 数学 II +B(啓林館) 数学 I・Aプレノート(数研出版) リンク数学演習 I・A + II・B approach(数研出版)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	整式 整式の加法・減法・乗法 因数分解 実数 根号を含む式の計算 1次不等式 1次不等式の利用 命題と条件 命題と証明関数とグラフ 2次関数のグラフ 2次関数と最大と最小 2次関数の決定	2次方程式 グラフと2次方程式 グラフと2次不等式	三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張 正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積	データの代表値 データの散らばりと四分位範囲 分散と標準偏差 データの相関	三角比の発展的学習 数学 I 演習
指導項目	数を実数まで拡張する意義を理解できるようにし、式を多面的にみたり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できるようにする。2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を2次不等式で表し2次関数のグラフを利用してその解を求めること。	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。	数学 I の発展的な学習を進める。
補講講習	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
4月8日	5月24日	7月1日	夏期休業期間講習実施	8月27日	10月19日	12月2日	冬期休業期間講習実施	1月11日	3月3日	
春休みの課題	数と式 二次関数	二次関数		数と式 二次関数	三角比	三角比 データの分析		三角比 データの分析	三角比の発展的学習等	

評価の観点 評価方法	①日々の授業、さらに、予習、復習、課題などに対して、具体的に取り組んでいるか ②解を求めるための基礎的な知識を身につけているか ③内容を正確に捉え、自分の考えを深めたり、発展させたりしながら、さらにそれを目的に応じて解答できるか、といった観点から評価する。 定期考査(100点×5)、特別考査、小テスト、レポート等の提出物等により評価する。
---------------	---

日常の 学習方法	①授業中 講義、演習を主として学習する。 ②家庭学習 (1)問題集ノートを中心に記述式のテストに対応できるよう、わかりやすい解答を作る (2)長期休業中や週末課題など解答をノートにまとめる。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	必修科目であり、2年次生で履修する「数学 II」に繋がる科目である。大学入学共通テスト出題内容の基本を学ぶ、という意味でも極めて重要な科目である。
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	数学A	年次	1年次	区分	必修	担当者名	
		数学	講座名	数学A	単位数	3単位	形態	クラス単位	教科書	東京書籍「数学A」(東書 数A 317)
目標 (学習を通して身につける学力)		場合の数と確率、整数の性質、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。							副教材	Focus Gold 数学 I + A(啓林館) Focus Gold 数学 II + B(啓林館) フォーカスゴールドノート 数学 I + A(啓林館) フォーカスゴールドノート 数学 II + B(啓林館) 数学 I・Aプレノート(数研出版) リンク数学演習 I・A + II・B approach(数研出版)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	集合の要素の個数 樹形図と場合の数 順列 組合せ 事象と確率 確率の基本性質 独立な試行の確率 反復試行の確率 条件つき確率	三角形の重心・外心・垂心・内心 チェバの定理、メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線 方べきの定理 2つの円の位置関係 基本的な作図 長さの作図	直線と平面 多面体 約数と倍数 最大公約数と最小公倍数 除法の性質と整数の分類	合同式 ユークリッドの互除法 2元1次不定方程式 図形の発展学習	数学A発展的な学習 共通テスト演習
指導項目	場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。また、確率を事象の考察に活用すること。	平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。	二元一次不定方程式の解の意味について理解し、簡単な場合についてその整数解を求める。	数学Aの発展的な学習を進める。
補講講習	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
4月8日	5月24日	7月1日	夏期休業期間講習実施	8月27日	10月19日	12月2日	冬期休業期間講習実施	1月11日	3月3日	
春休みの課題	場合の数と確率	図形の性質		場合の数と確率 図形の性質	整数の性質	整数の性質		整数の性質	数学Aの発展的な学習等	

評価の観点 評価方法	①日々の授業、さらに、予習、復習、課題などに対して、具体的に取り組んでいるか ②解を求めるための基礎的な知識を身につけているか ③内容を正確に捉え、自分の考えを深めたり、発展させたりしながら、さらにそれを目的に応じて解答できるか、といった観点から評価する。 定期考査(100点×5)、特別考査、小テスト、レポート等の提出物等により評価する。
---------------	---

日常の 学習方法	①授業中 講義、演習を主として学習する。 ②家庭学習 (1)問題集ノートを中心に記述式のテストに対応できるよう、わかりやすい解答を作る (2)長期休業中や週末課題など解答をノートにまとめる。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	必修科目であり、2年次生で履修する「数学B」に繋がる科目である。大学入学共通テスト出題内容の基本を学ぶ、という意味でも極めて重要な科目である。
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	化学基礎	年次	1年次	区分	必履修	担当者名	
		理科	講座名	化学基礎	単位数	3単位	形態	習熟度別	教科書	化学基礎 新訂版(実教出版)
目標 (学習を通して身につける学力)		1. 化学的知識のみならず、化学的な物の見方、考え方を身につける。 2. 知識技能を社会に還元し、自分たちの手で環境を守るといふ使命感を育む。 3. 未知の現象に対して疑問を抱く姿勢と、それを解決していく能力を伸ばす。							副教材	2021セミナー化学+化学基礎(第一学習社) 新訂化学図表(浜島書店) Let'sTryNote化学基礎 vol.2 物質と化学反応式(東京書籍) Let'sTryNote化学基礎 vol.3 物質の変化(東京書籍) Let'sTryNote化学 vol.3 無機物質(東京書籍)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	物質の構成 1. 物質の探究 物質の種類と性質 物質と元素 物質の三態と熱運動 2. 物質の構成粒子 原子の構造 イオンの生成 周期表	物質と化学結合 1. イオン結合 イオン結合 イオン結晶 2. 共有結合と分子間力 共有結合と分子間力 共有結合からなる物質 3. 金属結合 金属結合 金属 4. 化学結合と物質 物質の分類 金属結合からなる物質とその利用 イオン結合からなる物質とその利用 共有結合からなる物質とその利用 物質の変化 1. 物質と化学反応式 原子量と分子量・式量 物質量 溶液の濃度 化学反応式 基本法則に関連した化学史	物質の変化 2. 酸と塩基 酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩 中和滴定	物質の変化 3. 酸化還元反応 酸化と還元 酸化剤と還元剤 酸化還元反応の起こりやすさ 身の回りの酸化還元反応(電池)	物質の変化 3. 酸化還元反応 身の回りの酸化還元反応(電気分解) 無機物質 1. 周期表と元素 周期表と元素 2. 非金属元素の単体と化合物 水素と貴ガス ハロゲンとその化合物 酸素・硫黄とその化合物 窒素・リンとその化合物 炭素・ケイ素とその化合物
指導項目	物質の構成 ・物質の探究の各項目を理解する。 ・元素記号、元素名を覚える。 ・周期表と周期律を理解する ・原子の構造、電子配置を理解する。 ・イオン式、イオンの名称を覚える。	物質と化学結合 ・各結合がどのように結びつくか理解する。 物質の変化 ・物質量の計算を理解する。 ・化学反応と量的関係を理解する。	物質の変化 ・酸と塩基の性質と反応を理解する。 ・中和反応による反応式がかけられるようになる。 ・水素イオン濃度とpHの計算を理解する。 ・中和滴定の実験法や計算を理解する。	物質の変化 ・酸化還元反応を理解する。 ・酸化剤、還元剤の半反応式がかけられるようになる。 ・酸化還元反応の反応式がかけられるようになる。 ・酸化還元滴定の実験法や計算を理解する。 ・電池の原理や反応式をかけるようになる。	物質の変化 ・電気分解の原理や反応式をかけるようにする。 ・ファラデー定数を活用した計算を理解する。 無機物質 ・出てきた物質に関する化学的性質を理解し、 反応式がかけられるようになる。
補講講習	小テストをおこない、不合格者には追試を行う。	小テスト不合格者に追試験を行う。 夏期休業中に講習を行う場合がある。	小テストをおこない、不合格者には追試を行う。	小テストをおこない、不合格者には追試を行う。	小テストをおこない、不合格者には追試を行う。 春期休業中に講習を行う。

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲
		課題 2学期以降の学習に 活用される内容の演習 セミナー化学+化学基礎 Let'sTryNote化学基礎 vol.2物質と化学反応式			課題 3学期の学習に 活用される内容の演習 セミナー化学+化学基礎 Let'sTryNote化学基礎 vol.3物質の変化		

評価の観点 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本的事項を確実に理解できたかを評価の観点のひとつとする。 原子の構造や電子配置、物質と化学反応式の書き方、量的関係等は化学の学習全体の基本事項であるので特に重点とする。 実験や観察を行った際、結果の記録や考察を期限まで報告書として提出する。一定水準の内容の報告書が決められた期限までに提出され場合、評価に加算する。 年間を通しての定期考査の結果および小テストや夏休みの課題、実験や観察の報告書等を総合して評価する。
---------------	--

日常の 学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業後に復習を必ず行い、授業内容を振り返る。 課題とされたプリント、問題集のセミナー、Let's Try Note等に取り組む。 課題は解答を見ながら答え合わせ(丸付け)を行い、間違えたところは、やり直しをして提出する。 実験を行った際、実験レポートを作成・提出する。 小テストに備えて、十分に時間をとって内容理解に努める。 考査に備え、日頃から問題集のセミナー、Let's Try Note等に取り組む。
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	<ul style="list-style-type: none"> 3学年で理系を志す生徒は、2学年で忘れないよう、問題演習をする必要がある。 セミナーをやり直したり、学校で用意された講習等を利用して化学に触れる時間をつくり、3学年履修時に備える。
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	体育	年次	1年次	区分	必履修	担当者名		
		保健体育	講座名	体育	単位数	3単位	形態	クラス単位	教科書	現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)	
目標 (学習を通して身につける学力)		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。								副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	体育理論 体づくり運動 陸上競技【短距離走】 器械運動【マット運動】 球技【ネット型:バレーボール】 武道【柔道(男子)】 体育理論では「する、みる、支える、知る」といった豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。 体づくり運動では目的に適した運動の計画を立て取り組む。 陸上競技では短距離走においてタイムを短縮したり、競争したりできるようにする。 器械運動ではマット運動において自己に適した技で演技ができるようにする。 球技ではネット型に共通する動きを身につける。 武道では柔道において簡易な試合で攻防を展開することができるようにする。	体育理論 体力テスト 体づくり運動 水泳【平泳ぎ、クロール】 体育理論では、「する、みる、支える、知る」といった豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。 体づくり運動では目的に適した運動の計画を立て取り組む。 水泳のクロール・平泳ぎでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりするなど、効率的に泳ぐことを身に付ける。	体育理論 体づくり運動 球技【ゴール型:バスケットボール】 球技【ゴール型:サッカー(男子)】 球技【ネット型:卓球(女子)】 球技【ベースボール型:ソフトボール(女子)】 武道【柔道(男子)】 水泳【平泳ぎ、クロール】 体育理論では、「する、みる、支える、知る」といった豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。 体づくり運動では目的に適した運動の計画を立て取り組む。 球技ではゴール型・ネット型に共通する動きを身につける。 柔道では簡易な試合で攻防を展開することができるようにする。 水泳のクロール・平泳ぎでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりするなど、効率的に泳ぐことを身に付ける。	体育理論 体づくり運動 球技【ゴール型:バスケットボール】 球技【ゴール型:サッカー(男子)】 球技【ネット型:卓球(女子)】 球技【ベースボール型:ソフトボール(女子)】 武道【柔道(男子)】 陸上競技【長距離走】 体育理論では、「する、みる、支える、知る」といった豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。 体づくり運動では目的に適した運動の計画を立て取り組む。 球技ではゴール型・ネット型に共通する動きを身につける。 柔道では簡易な試合で攻防を展開することができるようにする。 陸上競技では自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競争したりできるようにする。	体育理論 陸上競技【長距離走】 体づくり運動【なわ跳び】 陸上競技では自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競争したりできるようにする。 体づくり運動では目的に適した運動の計画を立て取り組む。 また、体力を高める運動として、なわ跳び運動に取り組む。短なわを用いて、巧みな動きと動きを継続する能力を養う。
指導項目	オリエンテーションにおいて資料・説明で学習の流れを知り、学び方・技能の実態・習得方法など、グループで計画できるようにする。基本技能を習得し、自分の動き、仲間の動きに対して教え合いながら学習できるようにする。	水泳の特性を理解し、安全面に関する注意事項を理解する。自己の目標を設定することで、課題解決のための工夫を行い意欲的に取り組み成果を上げる。遠泳に適した泳ぎを身につける。	種目の特性を理解し、安全面に対する注意事項を理解する。学習の流れを知り、学び方・技能の実態・習得方法などグループ学習を通して、自分の動き・仲間の動きに対して教え合い、話し合いができるようになる。習得した技能を活かし、試合に応用する。また、試合を企画運営できるようにする。	2学期前半の項目に加え、長距離走におけるコンディショニングの重要性を理解し実施する。効率的で、体に負担のかからないフォームを身につけて実施する。トレーニング効果があるかを理解し日常生活に応用できるようにする。	目標タイムを設定するなど目標を持って走りることができるようにする。効率的で体に負担のかからないフォームを理解して実施。 仲間と教え合いながら技の習得を目指し、本校で長期的に取り組んでいる、なわ跳び検定に取り組む。単独技から連続技、自由跳躍へと技能を高めていけるようにする。
補講講習	計測・スキルテスト	実技試験・長い距離を泳げる泳力	計測・スキルテスト	計測	検定

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	知識・技能 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な知識や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための科学的知識及び目的に応じた技能を身に付けている。 思考・判断・表現 生涯にわたる豊かなスポーツライフの継続を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを表現するとともに、健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 主体的に学習に取り組む態度 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 * 授業担当者が観察や技能テスト等により、総合的に評価。
---------------	--

日常の 学習方法	教員の指導のもと、技能や個人やチームで考えたことなどを学習ノート等に記録し、振り返りを行うことで進歩の状況を確認しながら単元を進める。また、自分や仲間の課題を発見し、課題解決の課題を踏まえて思考し判断したことを、根拠を示したり他者に配慮したりしながら、言葉や文章及び動作などで表したり、他者にわかりやすく伝えたりする。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	①動きやすい服装、体育にふさわしい服装をしておくこと。 ②ピアス、ネックレス、指輪などの装飾品は外しておくこと。 ③爪が伸びている者は切っておくこと。 ④頭髪については、髪が邪魔にならないように結ぶ、束ねるなど配慮すること。 ⑤体調管理を各自すること(睡眠、水分補給、運動への順化等)。 ⑥人数把握のため合図があったら速やかに整列すること。 ⑦集合したら話を聞く姿勢をつくること、時間を守ること。
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	保健	年次	1年次	区分	必履修	担当者名	
		保健体育	講座名	保健	単位数	1単位	形態	クラス単位	教科書	現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)
目標 (学習を通して身につける学力)		保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。							副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	1- 1 私たちの健康のすがた 1- 2 健康のとらえ方 1- 3 健康と意志決定・行動選択 1- 4 健康に関する環境づくり 1- 5 生活習慣病とその予防	1- 6 食事と健康 1- 7 運動と健康 1- 8 休養・睡眠と健康 1- 9 喫煙と健康 1-10 飲酒と健康	1-11 薬物乱用と健康 1-12 現代の感染症 1-13 感染症の予防 1-14 性感染症・エイズとその予防	1-15 欲求と適応規制 1-16 心身相関とストレス 1-17 ストレスへの対処 1-18 心の健康と自己実現	1-19 交通事故の現状と要員 1-20 交通社会における運転者の資質と責任 1-21 安全な交通社会づくり
指導項目	現代社会の健康について理解を深めること。 現代社会の健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。	現代社会の健康について理解を深めること。 現代社会の健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。	現代社会の健康について理解を深めること。 現代社会の健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。	現代社会の健康について理解を深めること。 現代社会の健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。	安全な社会生活について理解を深めること。 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。
補講講習	課題状況等不良者補習	課題状況等不良者補習	課題状況等不良者補習	課題状況等不良者補習	課題状況等不良者補習

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	<p>知識・技能 個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けている。</p> <p>思考・判断・表現 個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して、総合的に考え、判断し、それらを表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>* 授業担当者が小テスト等により、総合的に評価。</p>
---------------	---

日常の 学習方法	<p>授業で得た知識・情報を自身の生活と照らし合わせて、健康課題の改善点を見つける。仲間の意見を聞き、自分自身と比較しながら意見交換が行えるように考え学習する。</p>
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	<p>健康に関する興味や課題解決への意欲を高め、知識を活用する学習活動を重視する。</p>
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	音楽I	年次	1年次	区分	必修選択	担当者名	
	芸術	講座名	音楽I	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	改訂版 高校生の音楽1(音楽之友社)
目標 (学習を通して身につける学力)	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。							副教材	MUSIC NOTE基礎から学ぶ高校音楽(啓隆社)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	歌唱;斉唱「校歌」、混声四部合唱「校歌」、 イタリア歌曲 器楽;キーボード 楽典;ドイツ音名、音程	歌唱;イタリア歌曲、ドイツリート、混声三部合唱曲 器楽;キーボード 楽典;音程、音階	歌唱;ポピュラー曲、混声四部合唱曲 器楽;ギター、キーボード、 少人数によるアンサンブル 楽典;音程、音階、コードネーム、調	歌唱;ポピュラー曲、混声四部合唱曲 器楽;ギター、キーボード、 少人数によるアンサンブル 簡単な編曲 楽典;コードネーム、調	歌唱;自由曲、混声四部合唱曲 器楽;ギター、キーボード、 少人数によるアンサンブル 簡単な編曲 楽典;コードネーム、調
指導項目	正しい姿勢、発声、豊かな音量、 正しい音程、正しいリズム、 美しいハーモニー	正しい姿勢、発声、豊かな音量、 正しい音程、正しいリズム、 美しいハーモニー	正しい姿勢、発声、豊かな音量、 正しい音程、正しいリズム、 美しいハーモニー	正しい姿勢、発声、豊かな音量、 正しい音程、正しいリズム、 美しいハーモニー、豊かな響き、 表情豊かな表現	正しい姿勢、発声、豊かな音量、 正しい音程、正しいリズム、 美しいハーモニー、豊かな響き、 表情豊かな表現
補講 講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・活動の様子 ・楽典問題 ・諸課題
---------------	---

日常の 学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技を中心とした学習 ・独唱・重唱・混声合唱 ・独奏・グループ合奏
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	音楽関係の進学及び発展的な学習を希望するものは音楽Ⅱ、音楽Ⅲへと履修していく 音楽系進学を希望しているものでソルフェージュを特に勉強したい者は、3年次に音楽基礎実習を履修できる
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	美術 I	年次	1年次	区分	必修選択	担当者名	
	芸術	講座名	美術 I	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	高校生の美術1(日本文教出版)
目標 (学習を通して身につける学力)	美術の多様な創造活動を通して、幅広く文化を尊重する態度を養い、新たな文化の創造の担い手の育成を目指す。 「文化について」「芸術や美術について」自分の考えを持ち、自ら表現し、行動する人間を目指す。 美術の幅広い活動を通して、美術を愛好する心情を育て、感性を高め、創造的な表現の能力と鑑賞の能力を伸ばす。							副教材	なし

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	鉛筆画基礎 鉛筆デッサン	鉛筆構成画 数字・アルファベットのデザイン	色彩基礎 立体感のある色彩構成	立体感のある色彩構成	静物着彩 自画像
指導項目	<ul style="list-style-type: none"> 制作時の姿勢について 鉛筆画の基本について グラデーションについて・鉛筆デッサンの基礎 鉛筆デッサンによる空間の表現 	<ul style="list-style-type: none"> 構図についての理解 立体感の把握と表現 質感表現の理解 アルファベット・数字のデザイン レタリングによる構成・表現を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 配色によって、立体感を表現する。 構成を考える 豊かな発想をさせる 動きとバランスのある表現 立体感を表す効果的な配色の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 画材の理解 平面構成の着色法 ・ていねいな仕事 ・デザインにおけるフィニッシュワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 形態を理解し、質感の表現方法を理解する。 ・人物画の空間表現 ・マチュールについて ・対象の観察と工夫
補講講習	授業内に作品未完成なものに対して行う。	授業内に作品未完成なものに対して行う。	授業内に作品未完成なものに対して行う。	授業内に作品未完成なものに対して行う。	授業内に作品未完成なものに対して行う。

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	<p>【提出作品】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作に対する関心・意欲 対象を把握しようとする姿勢をもち的確な表現ができていないか 画面の構成や立体感・質感の理解・表現が的確にできていないか 色彩への理解をもち、豊かな発想力で効果的な表現ができるか <p>上記提出作品の評価に加えて、授業に取り組む姿勢やレポート等の提出物も併せ、総合的に評価する。</p>
---------------	--

日常の 学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「描く」「表す」「作る」ことの意義を考え、手法を身につける ・自己の表現を追求するとともに、他者の表現に目を向けそれを尊重すること ・美術の特性である、発想から完成までの行程を理解し、自覚を持って授業に取り組むこと ・「描く」「表す」「作る」ことの意義を考え、手法を身につける ・自己の表現を追求するとともに、他者の表現に目を向けそれを尊重すること ・美術の特性である、発想から完成までの行程を理解し、自覚を持って授業に取り組むこと
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	美術 I においては、平面の表現を中心に制作を行う。 美術 I で学んだ内容を基礎として、美術 II では、応用的な平面の表現や立体表現の基礎を学習する。
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	工芸 I	年次	1年次	区分	必修選択	担当者名	
	芸術	講座名	工芸 I	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	工芸 I (日本文教出版)
目標 (学習を通して身につける学力)	工芸の幅広い創造活動を通して美的体験を豊かにし、工芸を愛好する心情と生活を豊かにするために工夫する態度を育むとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。							副教材	なし

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	・木工芸 「バターナイフ・ペーパーナイフの制作」	・木工芸 「バターナイフ・ペーパーナイフの制作」	・金属工芸(鋳造) 「指輪づくり」 ロストワックス技法による指輪の制作	木彫と漆工芸 「木彫小皿の制作」	木彫と漆工芸 「木彫小皿の制作」
指導項目	・木工の作業手順 ・各種道具類、機械類の正しい使い方。 ・オリジナリティーと機能性を備えたデザインの工夫。 ・素材の美しさを活かしたデザインの工夫。 ・丁寧な作業で美しい仕上がり	・各種道具類、機械類の正しい使い方。 ・オリジナリティーと機能性を備えたデザインの工夫。 ・素材の美しさを活かしたデザインの工夫。 ・丁寧な作業で美しい仕上がり	1 ワックス原型の制作 2 原型の埋没 3 石膏型の脱ろう 4 金属の流し込み・割り出し 5 研磨	木彫 ・切り出し刀の使い方の基本(地紋彫りの練習) ・模様のデザイン ・彫り	木彫・塗装(人工漆) ・下地塗装 ・刷毛の取りあつかいについて ・本塗り ・仕上げ
補講 講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	<p>【観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具・工具の使い方を習得できたか。 ・丁寧な作業で、美しい作品となったか。 ・オリジナリティーのあるデザインを制作できたか。 <p>【評価方法】</p> <p>作品8割 授業態度2割</p>
---------------	--

日常の 学習方法	<p>【授業中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアを練るところから、完成までのプロセスを大事にする。 ・丁寧な作業で、完成作品の美しさを常に意識する。
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	書道 I	年次	1年次	区分	必修選択	担当者名	
	芸術	講座名	書道 I	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	書 I (教育図書)
目標 (学習を通して身につける学力)	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。 ・毛筆による手書きの文字表現の楽しさを味わう。 ・書の古典を鑑賞・臨書・創作の作業をすることによって理解する。 ・日常生活の中で使用する書について関心を持つ。							副教材	高校硬筆の練習(教育出版)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	・書写から書道へ ・漢字の書(楷書)	・漢字の書(行書)	・漢字の書(隸書)	・仮名の書	・漢字仮名交じりの書
指導項目	・用具・用材 ・姿勢・執筆法 ・古典の臨書 ・鑑賞	・特徴・用筆法 ・字形の取り方 ・創作 ・鑑賞	・特徴・用筆法 ・字形の取り方 ・創作 ・鑑賞	・仮名の成立 ・仮名の筆づかい ・連綿と変体仮名 ・古典の臨書・鑑賞 ・散らし書き	・仮名と漢字の調和 ・創作 ・落款と篆刻 ・鑑賞
補講講習	作品提出に間に合わない生徒を対象に補習	作品提出に間に合わない生徒を対象に補習	作品提出に間に合わない生徒を対象に補習	作品提出に間に合わない生徒を対象に補習	作品提出に間に合わない生徒を対象に補習

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	

評価の観点 評価方法	【評価の観点】 ①書への関心・意欲・態度 ②書表現の構想と工夫 ③創造的な書表現の技能 ④鑑賞の能力 【評価方法】 「作品」「作品カード」「学習活動への参加状況」の内容を総合的に判断し評価する。
---------------	---

日常の 学習方法	「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」について実技形式を主として学習する。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	特になし
----------------------------	------

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	コミュニケーション英語 I	年次	1年次	区分	必修	担当者名	
	外国語	講座名	コミュニケーション英語 I	単位数	4単位	形態	クラス単位	教科書	ELEMENT English Communication I (啓林館)
目標 (学習を通して身につける学力)	1. 4技能を総合的に使いこなせるようにする。 2. まとまった英文を自分の力で読解する能力を高める。 3. 語彙を増やし、英語を聞き取って情報や話し手の意向を理解できる力、自分の考えや伝えたいことを英語で話したり書いたりして表現できる力を養う。 4. 文法事項を正しく理解し使いこなせるようにする。							副教材	・Cutting Edge Green (エミル出版) ・速読英単語 入門編 (Z会) ・英語の発音ノート (数研出版) ・Reading Express Book2 (Z会) ・Get Ahead (Oxford)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	【読解】 ELEMENT Lesson 1 Rakuko in English Lesson 2 Christian the Lion Cutting Edge Green Chapter 1 環境 「食事とCO2」 Chapter 2 健康 「必要水分量」 CROWN PLUS 3 Lesson 1, 2 【速読】 Reading Express Book 2 1~5 【Speaking】 Get Ahead 1 英語の発音ノート 授業内活動 【単語】 速読英単語 1 2~24 【外部検定試験対策】 "問題演習"	【読解】 ELEMENT Lesson 3 Predictions of the Future Lesson 4 Twice Bombed, Twice Survived Cutting Edge Green Chapter 3 言語 「英語の変遷」 Chapter 4 科学 「トランスヒューマン」 Chapter 7 進化論 「火の制御とその効果」 CROWN PLUS 3 Lesson 3 【速読】 Reading Express Book 2 6~11 【Speaking】 Get Ahead 1 英語の発音ノート 授業内活動 【単語】 速読英単語 2 5~39 【外部検定試験対策】 問題演習	【読解】 ELEMENT Lesson 5 Umami Lesson 6 The Story of PlayPumps Cutting Edge Green Chapter 7 進化論 「火の制御とその効果」 Chapter 8 医療 「自動投薬装置」 Chapter 9 経済 「生活賃金」 CROWN PLUS 3 Lesson 4 【速読】 Reading Express Book 2 12~18 【Speaking】 Get Ahead 1 英語の発音ノート 授業内活動 【単語】 速読英単語 4 0~51 【外部検定試験対策】 問題演習	【読解】 ELEMENT Lesson 7 Biomimetics Lesson 8 The Power of Presentation Cutting Edge Green Chapter 12 動物 「緑色の血液」 Chapter 13 国際 「アフリカのブランド商品」 Chapter 14 科学 「文明の隆盛」 CROWN PLUS 3 Lesson 5 【速読】 Reading Express Book 2 19~25 【Speaking】 Get Ahead 1 英語の発音ノート 授業内活動 【単語】 速読英単語 5 2~68 【外部検定試験対策】 問題演習	【読解】 ELEMENT Lesson 9 Bopsy Lesson 10 Playing the Enemy Cutting Edge Green Chapter 17 睡眠 「睡眠の常識」 Chapter 18 心理 「幸福感」 CROWN PLUS 3 Lesson 5 【Speaking】 Get Ahead 1 英語の発音ノート 授業内活動 【単語】 別途指示 【外部検定試験対策】 問題演習
指導項目	単語・文法 長文読解・リスニング	単語・文法 長文読解・リスニング	単語・文法 長文読解・リスニング	単語・文法 長文読解・リスニング	単語・文法 長文読解・リスニング
補講講習	指名生徒対象講習	指名生徒対象講習	指名生徒対象講習	指名生徒対象講習	指名生徒対象講習

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏季休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
4月8日(木)	4月30日(金)	7月7日(水)	夏季講習実施	8月27日(金)	9月13日(月)	11月10日(水)	冬期休業期間中課題	1月11日(火)	2月2日(水)	3月7・8日(木)(金)
読解・英文法・ 単語・リスニング	「学力リサーチ」 単語・文法 長文読解 リスニング	単語・文法 長文読解 リスニング	①発展講習 ②基礎講習 ③指名者対象講習 ④4技能試験対策講習	別紙にて指示	「GTEC」 単語・文法 長文読解 リスニング (スピーキングは別途)	単語・文法 長文読解 リスニング		別紙にて指示	単語・文法 長文読解 リスニング	単語・文法 長文読解 リスニング

評価の観点 評価方法	定期考査、宿題テスト、小テスト(英単語) 週末課題(別途指示)等の提出物 予習状況 プレゼンテーション、スピーチ等の実技テスト
---------------	--

日常の 学習方法	ガイダンス 及び 各講座担当より説明
-------------	--------------------

履修上の注意 (発展的な 科目との関 連)	①英文の読解力育成 多読・速読を通し、概要を把握するような読解ストラテジーを身に付ける。理解した英文を音読し、活用できる力を育成する。 精読を行い、難解な英文を理解し、詳細な情報を得るために必要な文法や文構造の知識を身に付けるようにする。 ②外部試験対策(GTEC) 夏季休業中全員対象の課題を実施する。授業を通し、基礎力、応用力を養い外部試験に臨む。
--------------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	英語表現 I	年次	1年次	区分	必履修	担当者名	
	外国語	講座名	英語表現 I	単位数	2単位	形態	習熟度別	教科書	Polestar English Expression I (数研出版)
目標 (学習を通して身につける学力)	1. 英文法を体系的にとらえ、英語の基本構造を理解する。 2. 基本構造を理解した上で、「読む・聞く・話す・書く」4技能を高めるため、演習を行う。 3. 英語によるコミュニケーションを通じて、外国の文化や外国人の考え方を客観的に理解しようとする態度を育てる。							副教材	・Breakthrough Upgraded English Grammar in 36 Lessons(美誠社) ・Breakthrough Upgraded English Grammar in 36 Lessons Workbook(美誠社) ・ブレイクスルー総合英語(美誠社) ・ブレイクスルー総合英語 例文集(美誠社) ・Focus on Listening Pre-Standard(エミル出版)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	【文法・語法・表現】 Breakthrough Upgraded English Grammar in 36 Lessons Lesson 1 文の種類 Lesson 2～3 基本文型 Lesson 5 基本時制 Lesson 6 進行形 Lesson 8 完了形(2) Lesson 9 助動詞(1) 【英作文】 Polestar English Expression I Lesson 1～5 【リスニング】 Focus on Listening Pre-Standard Training 1～5 【外部検定試験対策】 問題演習	【文法・語法・表現】 Breakthrough Upgraded English Grammar in 36 Lessons Lesson 10～11 助動詞(2)(3) Lesson 13 受動態(2) Lesson 14～17 不定詞 【英作文】 Polestar English Expression I Lesson6～12 【リスニング】 Focus on Listening Pre-Standard Training 6～10 【外部検定試験対策】 問題演習	【文法・語法・表現】 Breakthrough Upgraded English Grammar in 36 Lessons Lesson18～19 動名詞 Lesson20～22 分詞 【英作文】 Polestar English Expression I Lesson 13～15 【リスニング】 Focus on Listening Pre-Standard Training 11～15 【外部検定試験対策】 問題演習	【文法・語法・表現】 Breakthrough Upgraded English Grammar in 36 Lessons Lesson 23～26 関係詞 Lesson 27 ～29 比較 【英作文】 Polestar English Expression I Lesson16～20 【リスニング】 Focus on Listening Pre-Standard Training 16～20 【外部検定試験対策】 問題演習	【文法・語法・表現】 Breakthrough Upgraded English Grammar in 36 Lessons Lesson 30～32 仮定法 Lesson 33～34 否定 Lesson 35～36 語法 【英作文】 Polestar English Expression I Lesson 21,22 【リスニング】 別途指示
指導項目	①文法知識・語彙 ②文型や表現の型を用い、英語で表現する方法。 ③パラグラフ・ライティングの取り組み方 ④英作文を書き、添削指導	①文法知識・語彙 ②文型や表現の型を用い、英語で表現する方法。 ③パラグラフ・ライティングの取り組み方 ④英作文を書き、添削指導	①文法知識・語彙 ②文型や表現の型を用い、英語で表現する方法。 ③パラグラフ・ライティングの取り組み方 ④英作文を書き、添削指導	①文法知識・語彙 ②文型や表現の型を用い、英語で表現する方法。 ③パラグラフ・ライティングの取り組み方 ④英作文を書き、添削指導	①文法知識・語彙 ②文型や表現の型を用い、英語で表現する方法。 ③パラグラフ・ライティングの取り組み方 ④英作文を書き、添削指導
補講講習	指名生徒対象講習	指名生徒対象講習	指名生徒対象講習	指名生徒対象講習	指名生徒対象講習

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
4月8日(木)	4月30日(金)	7月7日(水)	夏期休業期間中課題	8月27日(金)	9月13日(月)	11月10日(水)	冬期休業期間中課題	1月11日(火)	2月2日(水)	3月7・8日(木)(金)
読解・英文法・ 単語・リスニング	「学カリサーチ」 単語・文法 長文読解 リスニング	単語・文法 長文読解 リスニング	夏季講習実施 ①発展講習 ②基礎講習 ③指名者対象講習 ④4技能試験対策講習	別紙にて指示	「GTEC」 単語・文法 長文読解 リスニング (スピーキングは別途行 う)	単語・文法 長文読解 リスニング		別紙にて指示	単語・文法 長文読解 リスニング	単語・文法 長文読解 リスニング

評価の観点 評価方法	5回の定期考査と通年実施の結果に、課題等の平常点を加えて、総合的に評価する。
---------------	--

日常の 学習方法	ガイダンス 及び 各講座担当より説明
-------------	--------------------

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	①問題演習 中学校での既習事項においては、問題演習を通して確実にする。 また、新規事項に対しても演習を行い、定着を図る。 ②ライティング 授業で学習した文法事項を利用し、実際に短い英文を書く練習を する。添削を受けることによって、ミスなく英文を書くことができるよ うにし、定着を図る。
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	英会話	年次	1・2年次	区分	自由選択	担当者名	
	外国語	講座名	英会話	単位数	2単位	形態	少人数	教科書	POLESTAR English Expression 1 (数研出版)
目標 (学習を通して身につける学力)	日常の身近な話題について「英語で」読む、聞く、話す、書く能力を伸ばし、英語をコミュニケーションの道具として使いこなし、積極的に自己の考えを英語で表現する力を養うことを目標とする。							副教材	News Tapes, TEDTALKS Keynote 1

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●授業オリエンテーション ●自己紹介 ●1)『NewsTapes(時事問題を扱った音源)』の聞き取りと、その内容に関する質疑応答、ならびに各自の口頭要旨要約を通しての内容理解 2)TEDTALKS Keynote 1を用いて、授業ごとに1つのテーマについて、TEDTALKSを聴いて内容理解/語彙の習得/テキストやJET教員からの質問に対して英語で考えをまとめて生徒間で共有、などを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●過去の思い出や将来の抱負を伝え合う ●基本動詞を用いた会話練習 ●英語ゲーム ●1)『NewsTapes(時事問題を扱った音源)』の聞き取りと、その内容に関する質疑応答、ならびに各自の口頭要旨要約を通しての内容理解 2)TEDTALKS Keynote 1を用いて、授業ごとに1つのテーマについて、TEDTALKSを聴いて内容理解/語彙の習得/テキストやJET教員からの質問に対して英語で考えをまとめて生徒間で共有、などを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休みの経験を伝え合う ●1)NewsTapes(時事問題を扱ったテープ)の聞き取りと、その内容に関する質疑応答、ならびに各自の口頭要旨要約を通しての内容理解 2)短いストーリー(Strange but True Stories)の要旨要約と、News TapesのDictationを内容とするListening Testの実施(Written Test)※1、2)については年間を通して実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●show and tell(伝えたいテーマを決め、それに関する物を見せながら発表する) ●1)『NewsTapes(時事問題を扱った音源)』の聞き取りと、その内容に関する質疑応答、ならびに各自の口頭要旨要約を通しての内容理解 2)TEDTALKS Keynote 1を用いて、授業ごとに1つのテーマについて、TEDTALKSを聴いて内容理解/語彙の習得/テキストやJET教員からの質問に対して英語で考えをまとめて生徒間で共有、などを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●冬休みの経験を伝え合う ●presentation(伝えたいテーマを決め、それを発表する。また聞いている生徒は積極的に質問をする) ●1)『NewsTapes(時事問題を扱った音源)』の聞き取りと、その内容に関する質疑応答、ならびに各自の口頭要旨要約を通しての内容理解 2)TEDTALKS Keynote 1を用いて、授業ごとに1つのテーマについて、TEDTALKSを聴いて内容理解/語彙の習得/テキストやJET教員からの質問に対して英語で考えをまとめて生徒間で共有、などを実施
指導項目	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で読む、聞く、話す、書く能力を養う ●英語を用いてコミュニケーションを取ろうという態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で読む、聞く、話す、書く能力を養う ●英語を用いてコミュニケーションを取ろうという態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で読む、聞く、話す、書く能力を養う ●英語を用いてコミュニケーションを取ろうという態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で読む、聞く、話す、書く能力を養う ●英語を用いてコミュニケーションを取ろうという態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で読む、聞く、話す、書く能力を養う ●英語を用いてコミュニケーションを取ろうという態度を養う
補講講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	授業によっては毎時間リスニングテスト(ショートストーリーの英語要約・その日に扱った英文のディクテーション)を実施しますが、出席状況や、授業参加態度も重視されます。1回休むと2時間の欠けがつくので注意してください。
---------------	--

日常の 学習方法	外国人指導員の先生と日本人の先生とのティームティーチングによる2種類の授業が1週間おきにあり、様々な教材を通して総合的に「読む・聞く・話す・書く」力をつけていきます。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	いわゆる「実技」的な要素を多く持つ科目です。積極的に授業に参加し、間違いを恐れず、大きな声で英語を話してください。また、単に英語がうまく話せても、中身のない空虚なコミュニケーションとならないよう、常に話したい内容(つまり様々な物事に対する自分の「意見」)をしっかり持つことが大切です。
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	ドイツ語	年次	1・2年次	区分	自由選択	担当者名	
	外国語	講座名	ドイツ語	単位数	2単位	形態	少人数	教科書	『シュピッツェ！1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』(朝日出版社)
目標 (学習を通して身につける学力)	ドイツ語圏の地理や文化、生活様式について、知識を広げる。 ドイツ語での日常会話、聞き取りの能力と基本文法を習得する。							副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	Lektion1～2	Lektion3～4	Lektion5～7	Lektion8～10	Lektion11～12
指導項目	動詞の位置 seinの1人称と2人称 並列の接続詞 ja / nein / doch の使い方	動詞の現在人称変化(3人称) 名詞の性 定冠詞・不定冠詞(1格・4格) 4格目的語をとる動詞 不規則動詞の現在人称変化I 人物を表す形容詞・評価を表す副詞	人称代名詞(1格・4格) 名詞の複数形 所有冠詞 否定冠詞(1格・4格) 不規則動詞の現在人称変化II	所有冠詞 人称代名詞(3格) 話法の助動詞 未来形 時・場所を表す前置詞	分離動詞 現在完了形
補講 講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
	7月中旬				12月中旬				2月中旬	
	1学期の学習内容の確認				2学期の学習内容の確認				年間を通じた学習内容の確認	

評価の観点 評価方法	平常点、宿題、テストをもとに総合的に評価する。
---------------	-------------------------

日常の 学習方法	コミュニケーション能力の向上を目標に授業を展開する。ドイツ語は英語と同じゲルマン系の言語で、英語と共通点が語彙においても文法においても多数ある。その点を意識して学習を進める。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	フランス語	年次	1・2年次	区分	自由選択	担当者名	
	外国語	講座名	フランス語	単位数	2単位	形態	少人数	教科書	Dialogues(第三書房)
目標 (学習を通して身につける学力)	初歩的なフランス語でコミュニケーションを図ることができる。 フランスおよびフランス語圏の国や地域の文化や社会についての理解を深める。							副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	第1課 文字・発音 第2課 挨拶 第3課 自己紹介	第4課 人称代名詞、属詞構文 第5課 形容詞、動詞	第6課 数詞、冠詞 第7課 助動詞	第8課 疑問詞 第9課 依頼表現	第10課 家族名称 第11課 誘う表現
指導項目	フランス語の文字および発音のルールを理解する 挨拶、自己紹介ができる	動詞、形容詞を使って簡単な文章が作れる	日常場面での会話ができる	質疑応答ができる	家族について話すことができる 会話のバリエーションを増やす
補講 講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
		1学期の学習内容				2学期の学習内容				一年間の学習内容

評価の観点 評価方法	授業参加率、宿題、テストをもとに総合的に評価する。
---------------	---------------------------

日常の 学習方法	授業での口頭練習に積極的に参加すること。 言語の背景にある文化にも広く関心を持つこと。
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	中国語	年次	1・2年次	区分	自由選択	担当者名	
	外国語	講座名	中国語	単位数	2単位	形態	少人数	教科書	「中国語はじめの一步」(白水社)
目標 (学習を通して身につける学力)	中国語であいさつや自己紹介ができるようになる。 中国語圏の習慣、文化、考え方などを知る。							副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >	
授業内容	「中国語はじめの一步」 第1課 発音・あいさつ 第2課 これは何ですか	第3課 動詞述語文 第4課 数量詞	第5課 日付・時刻 課完了	第6 第7課 介詞 課 時間量	第8 第9課 経験 課 助動詞	第10
指導項目	ピンインが読め、名前が言えるようになる	動詞と数量が言えるようになる	日付・時刻と完了が言えるようになる	場所と時間量が言えるようになる	一年間の集大成としてスピーチテストをおこなう	
補講 講習						

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
		6月下旬	レポート作成		10月中旬	12月中旬			2月下旬	
		学習項目の確認			学習項目の確認	学習項目の確認			学習項目の確認 スピーチテスト	ス

評価の観点 評価方法	授業態度、平常点、テストなどを総合して評価
---------------	-----------------------

日常の 学習方法	発音練習や、QAなど、口頭での練習を多く行います
-------------	--------------------------

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	ハングル	年次	1・2年次	区分	自由選択	担当者名	
	外国語	講座名	ハングル	単位数	2単位	形態	少人数	教科書	『できる韓国語 #中・高生の基本編』(ASUKU出版)
目標 (学習を通して身につける学力)	ハングル(韓国朝鮮語)の基礎的な学習を通じて、自分のことを「言える」ようにし、簡単なやりとりができるようにする。 あわせて簡単な文章を読めるようにする:挨拶、買い物、自己紹介などの基礎的な会話。(必ずしも教科書の順番通り進めるとは限らない) 韓国朝鮮の生活や習慣を知ること、体験学習などを通じて、言葉の背景にある文化にも理解を深める。 また日本との違いや共通点を見つける。□ <input type="checkbox"/>							副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	ハングル入門 文字と発音 教科書1-4□ □ □ □ □	会話文基礎 教科書 1-2課□ □ □ □ □	韓国朝鮮の文化に触れる(文化クイズ、韓服) 教科書 3-5課	教科書 6-10課	韓国朝鮮の文化に触れる(ユンノリ) 教科書 10-12課
指導項目	ハングル(文字)のルール、挨拶、自己紹介	ハングル(文字)のルール、挨拶、自己紹介 文法の初歩を学ぶ	動詞・形容詞の活用(丁寧表現)を学ぶ	希望、過去形の活用を学ぶ 数詞、注文の仕方を学ぶ	丁寧な命令表現を学ぶ
補講 講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	報告書(10点)+小テスト(20点)+定期試験(70点)=100点(評価)
---------------	---------------------------------------

日常の 学習方法	日々の授業を大切にし、授業で学んだことを必ず復習すること。
-------------	-------------------------------

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	家庭基礎	年次	1年次	区分	必修	担当者名	
		家庭	講座名	家庭基礎	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)
目 標 (学習を通して身につける学力)		1. 生活に関心を持ち、暮らしと社会との関わりを理解して、社会的な問題について自分なりの考え方がもてるようにする。 2. 人の一生・家族、福祉、衣食住、消費生活等について基本的な知識と技術を身につける。 3. 男女が協力して、家庭や地域社会を創造する力を身につける。 4. 家庭生活を自分自身のこととして捉え、生活を豊かにすべく問題解決能力を養う。 5. Sdgs実現に向けて持続可能な社会に対応し、環境に配慮した生活を目指す。							副教材	2021生活学Navi 資料+成分表(実教出版)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	自分らしい人生をつくる ・生涯発達の視点から人生100年を捉える ・青年期の課題 ・目標をもって生きる ・家族、家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会 ホームプロジェクトについて ・自らの生活に注目し、課題を見つけ計画を立て、実施し改善を目指す	子どもと共に育つ ・子どもの育つ力を知る ・親として共に育つ ・これからの保育環境 高齢社会を生きる ・高齢者の心身の特徴 ・これからの高齢社会	食生活をつくる ・食生活を振り返り課題について考える ・食事の栄養と食品 ・食生活の安全と衛生 ・調理の基礎 ・これからの食生活 住生活をつくる ・住生活について考える ・住生活の計画と選択 ・これからの住生活	経済生活を営む ・家庭の経済生活 ・キャッシュレス経済 ・現代の消費生活とこれからの消費生活 衣生活をつくる ・被服の役割を考える ・被服管理 ・布を用いた生活の知恵を知る	衣生活をつくる ・布を用いた生活の知恵 ・簡単な衣服の修繕方法を知る 消費者市民社会を築く ・消費行動と意思決定
指導項目	・男女が相互に協力して築くことの重要性和、家庭生活のあり方 ・家族・家庭に関する基本的な法律と、現在の社会の動き ・ワークライフバランスのお実現に向けて	・子どもの発達段階と親、周囲の人との関わりの大切さ ・子どもを取り巻く社会の現状 ・高齢社会の現状と課題	・現代の食生活の特徴と課題 「何をどれだけ食べたらよいか」 ・日常的な食品の栄養的特徴 ・基本的な調理技術 ・住居の機能と関わり ・持続可能な住生活	・キャッシュレス社会、契約と消費者信用 ・大量生産から負荷の少ないライフスタイルへ ・被服の役割と被服材料の特徴	・手縫いの基礎、ボタン等の付け方の技術 ・手作り作品 ・持続可能な生活を目指して取り組めること
補講講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲
		ホームプロジェクトの実施 自らの生活の中から課題を見つけ、改善計画を立てて、実行する。					

評価の観点 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査による知識等の理解度 ・実習による技術の習得 ・生活や社会に関心を持ち、自ら考え、判断し、行動できる態度が身についたか ・職員とのコミュニケーションがとれ、協力して作業を進めることができたか ・プリントやレポート等の提出状況 ・授業全体の取り組み方、授業態度 以上を総合的に評価する
---------------	---

日常の 学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の目標を明確に理解し、積極的に授業に取り組む ・班での学習に関して、職員とのコミュニケーションを図り、互いの意見を尊重して様々な意見に耳を傾け、自分なりの意見をもつ ・実習等に関して事前により準備し、積極的に参加する ・忘れ物をしない ・提出物は期限を守る
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	必修科目である
----------------------------	---------

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	人間と社会	年次	1年次	区分	必履修	担当者名	
	総合的な探究の時間	講座名	総合的な探究の時間	単位数	1単位	形態	クラス単位	教科書	
目標 (学習を通して身につける学力)	本校の「HEARTS PLAN」に基づき、人間尊重の精神を踏まえた人間としての生き方の探求、進路の探求、奉仕の精神を養う。							副教材	人間としての在り方生き方に関する教科 「人間と社会」副読本 (東京都教育委員会)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	第1章 人間関係を築く 第2章 学ぶことの意義 第8章 チームで活動することの意義 第11章 支え合う社会 第12章 地域社会を築く 第7章 選択し、行動する 学部・学科調べ 第6章 ネット時代 SNS利用法	第12章 地域社会を築く 選択実習(体験活動)	第11章 支え合う社会 第12章 地域社会を築く 選択実習(体験活動)	第8章 チームで活動することの意義 第15章 文化の多様性 第16章 グローバル化が進展する社会に生きる 選択実習(体験活動)	第3章 働くことの意義 キャリアガイダンス(進路講演会)
指導項目					
補講 講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

評価の観点 評価方法	各学習における活動状況及び、提出された課題をもとに総合的に判断し、評価する。
---------------	--

日常の 学習方法	「人間と社会」は、「これから何を大切にして、どのように生きていくか」を問う教科である。様々な活動を行うが、その目的を常に考えながら行動してほしい。また、この科目で学んだことを日常生活においても実践することが望まれる。
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	必修科目である。
----------------------------	----------